

DXの推進に関する条例の検討に係る WEBアンケート実施結果

■ 実施概要

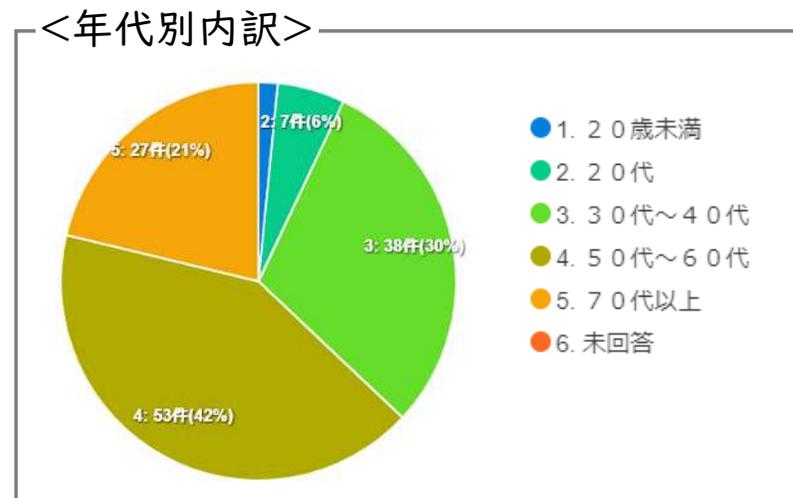
令和6年7月26(金) から8月14日(水)

■ 実施方法

パネルにより「デジタル×まちづくり」をテーマとした基本的な考え方などについてWEBアンケートより御意見をいただきました。

■ 参加者数

127人



DXの推進に関する条例の検討に係る WEBアンケート実施結果

■ 設問

Q1 あなたの年代を教えてください。

Q2 相模原市がデジタルによってどのようなまちになっていくことを期待しますか？

Q3 目指すまちを実現するため、特にどのようなことが重要だと思いますか？

Q4 デジタル化が進むことで、どのような不安がありますか？

Q5 「デジタル×まちづくり」に関するご意見がございましたら是非ご回答ください。

入力フォーム

1 入力 2 確認 3 完了

下記のフォームにご入力をお願いします。

01. あなたの年代を教えてください。 **必須**

- 20歳未満
- 20代
- 30代～40代
- 50代～60代
- 70代以上
- 未回答

02. 相模原市がデジタルによってどのようなまちになっていくことを期待しますか？
一番良いと思うものを選んでください。(1つ選択)

- 時間と心にゆとりがあり、自分らしく生活できるまち
- 互いに学び合い、若者にも魅力的な活気あふれるまち
- 夢や目標が実現でき、昔の笑顔があふれるまち
- 人々がつながり、楽しさあふれるまち
- 市の魅力を積極的に発信し、世界中に愛されるまち

03. 目指すまちを実現するため、特にどのようなことが重要だと思いますか？ (1つ選択)

- 住いやすく快適な、行政・民間がサービスを受けられる
- 最先端技術で革新的な魅力を出し、実証を進めよう
- 子育てなどの情報を受け取りやすくし、安心して子育てができる
- 自分に合ったライフスタイルで、時間にゆとりを持って仕事ができる
- 誰を重視しても継続できいきと暮らせる

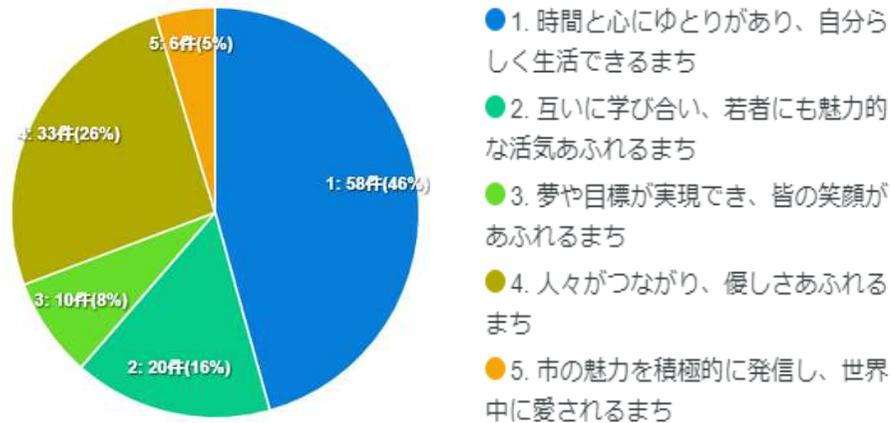
04. デジタル化が進むことで、どのような不安がありますか？ (複数選択可)

- 特に不安はない
- 人と人との関係が悪くなる
- 個人情報が入り込んで悪用されたり、知らない間に勝手に書き込まれたりしないか心配
- 雑音（パソコンやスマートフォンなど）を強いらせたくない、ついていけない
- インターネット依存により、健康面や日常生活に影響が出る
- 情報が増えすぎて、何が正しい情報かわからなくなる
- 新しい技術が生まれる度に機種の購入やサービスの利用が必要になり、経済的な負担が大きい
- 誰々の事情を考慮に入れていない手法でしか情報を伝えられず読者（文字のみ、音声のみなど）
- AIやロボットに人間の仕事を奪われる
- その他

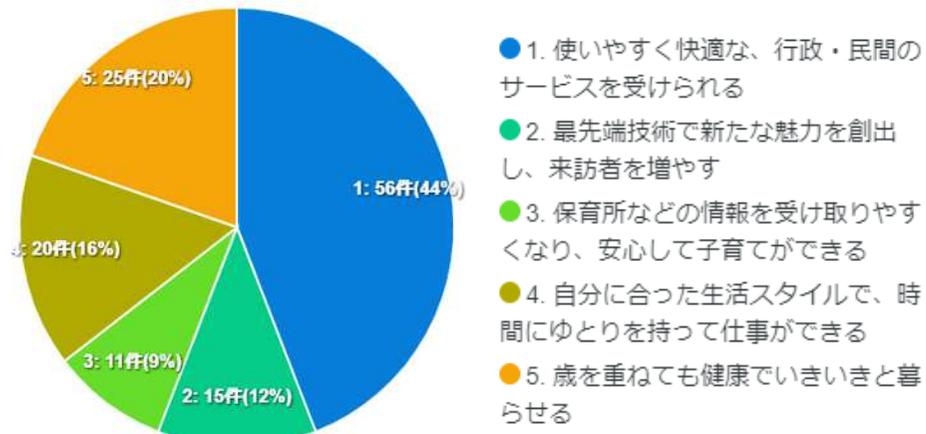
05. その他、「デジタル×まちづくり」に関するご意見がございましたら是非ご回答ください。(自由記入)

D Xの推進に関する条例の検討に係る WEBアンケート実施結果

【Q2】相模原市がデジタルによってどのようなまちになっていくことを期待しますか？

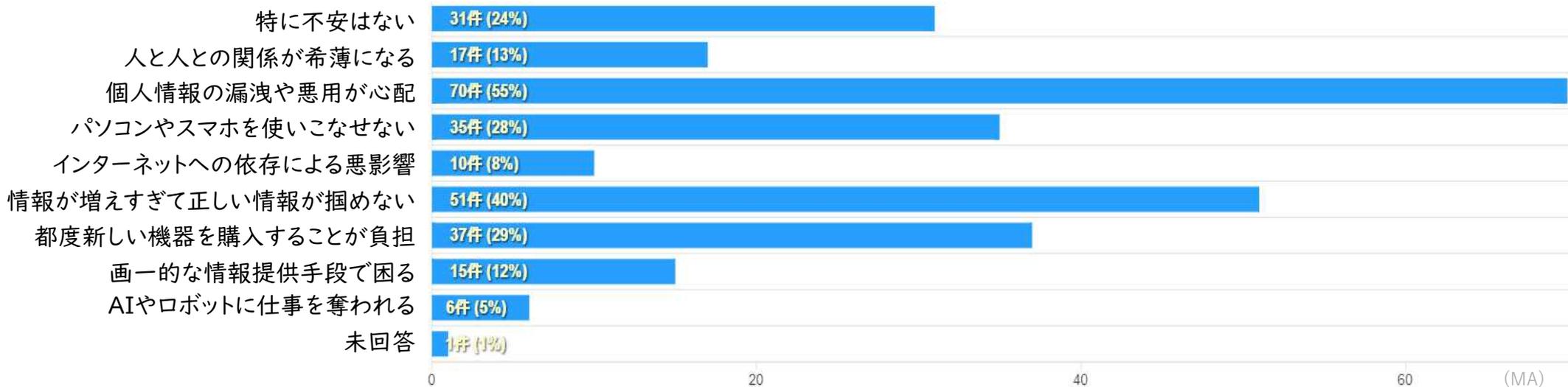


【Q3】目指すまちを実現するため、特にどのようなことが重要だと思いますか？



DXの推進に関する条例の検討に係る WEBアンケート実施結果

【Q4】デジタル化が進むことで、どのような不安がありますか？



DXの推進に関する条例の検討に係る WEBアンケート実施結果

【Q5】その他(自由意見)

<デジタル・デバイド対策>

- ・デジタル化は必要だと思うが、年代・収入・仕事・家族構成(ひとり暮らしや母子家庭等)などで格差が生じて恩恵が受けられないと言う事が無いようにきめ細かい配慮をして欲しい。
- ・誰でも簡単に使えることが大切。最初の入り口で断念するような事がないようにしてほしい。
- ・デジタル化は、デジタル機器が世帯に一台ないと広がらない。

<個人情報の保護>

- ・様々な行政サービスが、デジタル化によって、「いつでも」「どこでも」手続きができるようになると、とても便利になり良いと思うが、その反面、セキュリティに絶対はないと感じているので、情報漏洩が不安。
- ・個人情報がきちんと保護された上で、徹底した無駄の排除に繋がるデジタル化を望む。

<その他>

- ・デジタル化を普及するには、市民がリテラシーを高めるための仕組みや取り組みが不可欠だと思う。
- ・人と人の適度なコミュニケーションがとれる街をめざすことが重要
- ・新たなテクノロジーを取り入れ、「住みやすい」や「モデルシティー」として魅力発信が良いと思う。